

1. 教育計画

| | | | |
|------------------|---|------|--------|
| 分野 | 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度 | 科目名 | 公衆衛生学Ⅱ |
| 単位・時間 | 1単位 15時間 | 対象学年 | 1年生 |
| 方法 | 講義・演習 | 時期 | 後期 |
| 講師名 (担当授業時間数) | 穂積 真澄(6時間) 環境アドバイザー、他(10時間) | | |
| 講師の実務経験 | 穂積：看護師として星総合病院に5年勤務 | | |
| 学習目標 | 人間を含むあらゆる生物にとっての環境の意味を学び、健康と環境の関連から、健康課題に係る要因の分析や対策への知識を学ぶ。 | | |
| 成績評価方法 | ループリック評価、レポート評価 | | |
| 使用テキスト | 専門基礎分野 公衆衛生 健康支援と社会保障制度2 医学書院 | | |
| 参考文献 | | | |
| 履修上の留意 | | | |
| 講師からの メッセージ | 環境と人間の健康は密接に関連しています、つまり、公衆衛生の観点から、環境をマクロやミクロで分析することで健康リスクの明確化につながります。多様な環境問題について学習し、また、一部では現場見学を通して現実や現象を把握する機会をもつことで、自分たちに何ができるのかを一緒に考えましょう。 | | |

2. 授業計画

| 回 | 時間 | 学習項目 | 学習内容 | 形態 | 備考 |
|---|----|---------------|--|----------|----|
| 1 | 2 | 共存・共生社会と環境課題 | SDGsの知識と課題、日本の環境問題、福島県の環境問題、環境白書、福島県総合計画 | 講義 | |
| 2 | 2 | SDGsと健康課題 | SDGs17の目標と健康課題の取り組み、環境と健康の関係性 | 講義 演習 | |
| 3 | 2 | 地球環境 | 環境の概念、地球の環境問題、地球温暖化対策、持続可能な地域づくり、異常気象・気候変動の影響 | 講義 | |
| 4 | 2 | 公害対策と健康管理 | 公害に係る環境と健康の関係：大気、水質、悪臭、クリーンテクノロジー、騒音、振動など | 講義 | |
| 5 | 2 | 環境マネジメントと健康管理 | 化学物質管理と健康の関係：内分泌かく乱化学物質、シックハウス症候群などの化学物質リスクコミュニケーション、物環境基本法、労働安全衛生管理 | 講義 | |
| 6 | 2 | 放射性物質と健康管理 | 放射線、放射能物質、福島県の放射線問題と行政等の組織対策・医療提供対策 | 講義 | |
| 7 | 2 | 廃棄物対策と健康管理 | 一般廃棄物、産業廃棄物、ごみの減量とリサイクル、環境保全、省エネルギー、災害被災地環境問題等 | 講義 | |
| 8 | 2 | 評価 | レポート | 試験 | |